



ゴールド

FRBの金利引き下げ時期を示唆するサインを探る投資家で 2310 ドル近辺の狭いレンジで取引

シルバー

太陽光パネルの大手、中国の LONGI、2023年は 67.52GW のパネルを出荷、その 98% は国外

プラチナ

EU初の水素銀行の入札で、7億2000万ユーロの奨励金が、水電解能力の合計が 1.5GWとなる7つの再エネ水素プロジェクトに

パラジウム

4月の中国の vehicle inventory alert index は前月比で 1% 上がり 59.4% に、しかし前年比ではマイナス 1%

インド-UAE CEPA と インドの太陽光発電 セクターの将来性、 インド Silver Conference で テーマに

先日、我々はインドのゴアで開催された第2回目の「India Silver Conference」に250以上の代表とともに参加した。会場では同時に Silver Instituteによる『World Silver Survey 2024』の発表も行われたが、今回の話題の中心は、包括的経済連携協定 (CEPA)のもとで増加しているインドのシルバー輸入と、太陽光発電市場の将来性であった。

CEPA がインド経済に与える影響に関しては、2年前に締結されて以来、我々の『India Monthly』にて数回触れてきたが、簡単に説明すると、2022年2月にインドはアラブ首長国連邦(UAE)と、関税引き下げによる両国間の貿易振興を目的に自由貿易協定を結び、段階的な関税撤廃の対象として、UAEからのシルバーの輸入関税は毎年1%ずつ下がり10年間でゼロになるとした。

初年度のCEPA枠と通常の輸入の関税の差はわずか 0.5% だったが、2023年2月にインド政府が CEPAの枠外のシルバー地金の輸入関税を 15% に引き上げたてから、その差は拡大した。CEPA 枠の関税は2023年5月から2回目の引き下げを経て現在 9% であるから、通常の輸入関税よりも明らかに有利だ。UAEから輸入するシルバーには 3% の付加価値をつけなければならないことを考慮しても、UAEから輸入するシルバーの方が魅力的なわけだ。

CEPA枠によるインドのシルバー輸入は2023年7月頃から始まり、輸入量が増え始めたのは インド国際地金取引所 (IIBX) が2023年12月にシルバー取引を始めてからで、2024年1月以降に輸入量が急増している。第1四半期は 3770トン、2月は過去最高の 2211トンが輸入された。

Metals Focus による Precious Metals Weekly は
以下の各社提供となります。

 サンワード貿易株式会社

www.sunward-t.co.jp



www.royalmint.com



www.dillongage.com



A PALLION COMPANY

www.abcbullion.com.au



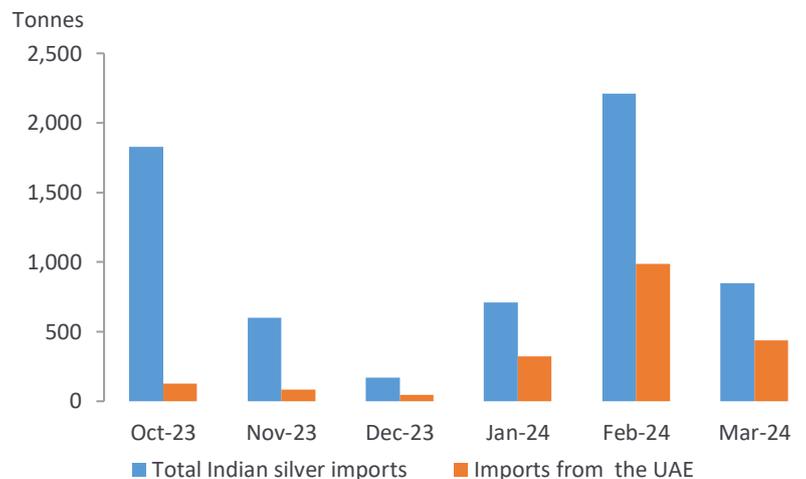
www.material.co.jp

ちなみに2024年第1四半期の輸入だけでも、2023年全体よりも9%多く、そのうち888トンがIIBXによってUAEから輸入されている。

インドのシルバー輸入全体に占めるUAEの割合は、2年前は1%にも満たなかったが、これが2023年には13%になり、2024年は現時点で46%にまで増えている。インド国内のシルバー需要は特筆するような回復傾向があるわけではないことから、輸入量の急増は関税差を利用して利を得る取引や、政府が有利な輸入品に対する規制をかけないうちに輸入しようとする取引と見られる。我々が調査したところによると、輸入されたシルバーのうち約30%から40%はまだフリートレードゾーン内の倉庫に保管されたままだ。

もう一点、今回の会議で注目を集めた議題として、シルバーの工業需要および、インドにおける太陽光発電セクターの将来性があった。インドは国際エネルギー機関が定めたネットゼロ目標を達成すべく、2030年までに再エネによる発電能力を500GWに高める計画に加え、インド独自のNational Electricity Plan (NEP)において、太陽光発電で2027年までに185.6GW、2030年までには365GWを目指している。つまり2023年末で消費電力の16%だった太陽光発電エネルギーを、2倍の32%にまで増やす計画なのだ。

インドのシルバー地金輸入



現在、インドの太陽光パネルによる発電量は 81.8 GW で、上述の目標を達成するためには、2030年まで毎年、40GWから50GW 増やしていかなければならないが、これまでの進捗状況を見ると、これは困難に見える。例えば2023年に太陽光発電で新たに加えられた発電量はわずか 7.5GW で、前年比で 44% も減っている。インド政府は再エネ戦略の一環として、太陽光パネルを輸入に頼らずに国内で生産することを奨励しており、パネルには 40%、太陽光電池には 25% の輸入関税がかけられている。インド国内の製造能力の限界を考えると、この高い輸入関税が太陽光発電能力の増強を妨げている面があるといえよう。

このような状況の中、インドでは国内の太陽光パネル製造の強化に乗り出しており、パネルに塗る銀ペーストの生産で地元の研究機関と企業の共同研究が始まっている。今回の会議でも銀ペーストの生産に必要な技術や設備などが話し合われたが、インド国内で生産が可能になれば、太陽光発電能力を大幅に増やすことができるだろう。2023年の銀ペーストの需要は輸入の 23トンで賄われており、組み立て済みの太陽光パネルの大部分は輸入品だ。しかし海外のサプライヤーと協力してインド国内で銀ペーストの生産を目指す企業もある。短期間で目に見えるような成功を収めるのは難しいが、このような動きはインドの太陽光発電能力の増強を後押しすることになり、ネットゼロ目標達成だけでなく、国内のシルバー産業の促進にも役立つだろう。

インドの電源別発電電力量 (%)

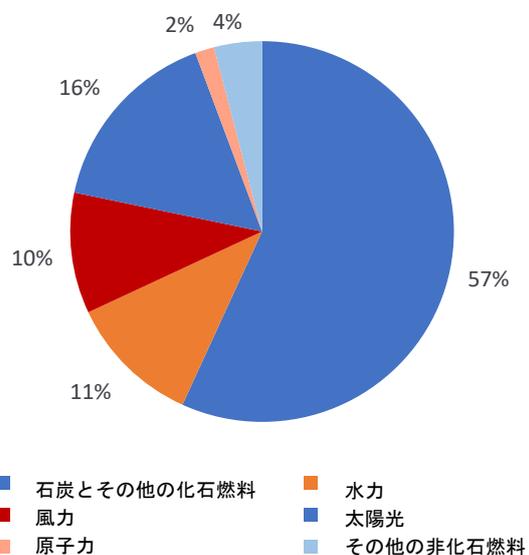
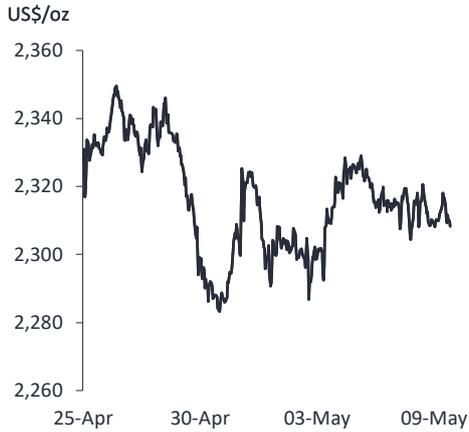


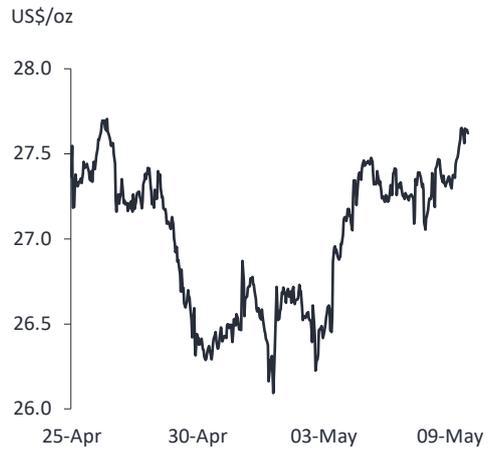
チャート - 貴金属価格（米ドル/オンス）

ゴールド



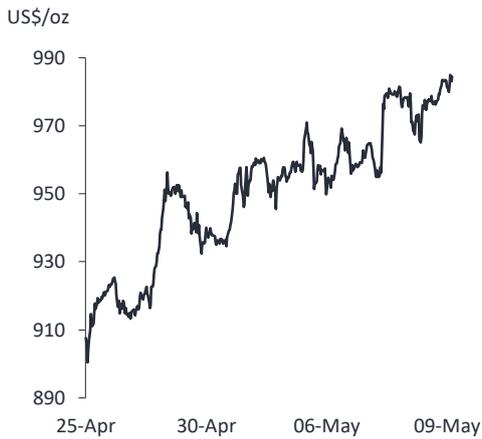
出典 ブルームバーグ

シルバー



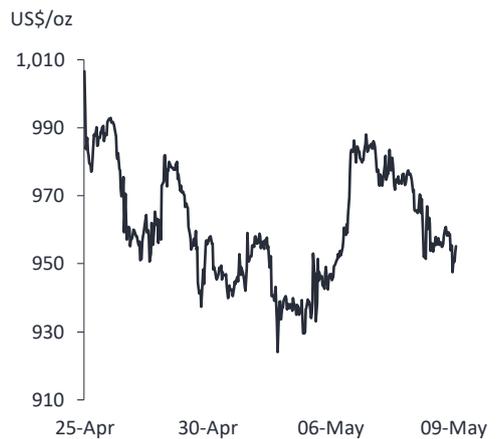
出典 ブルームバーグ

プラチナ



出典 ブルームバーグ

パラジウム

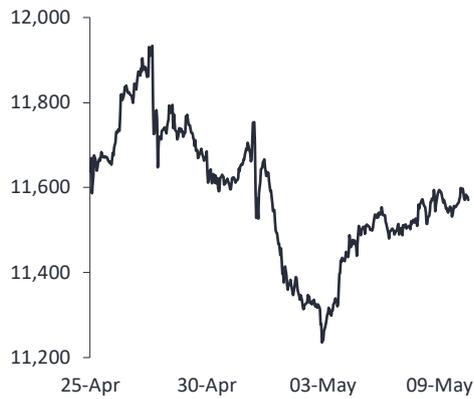


出典 ブルームバーグ

チャート - 貴金属価格（日本円/グラム）

ゴールド

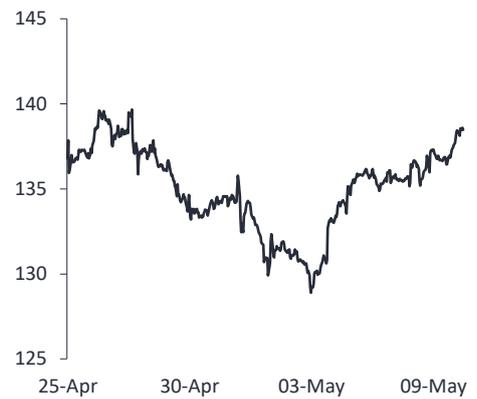
¥/g



出典 ブルームバーグ

シルバー

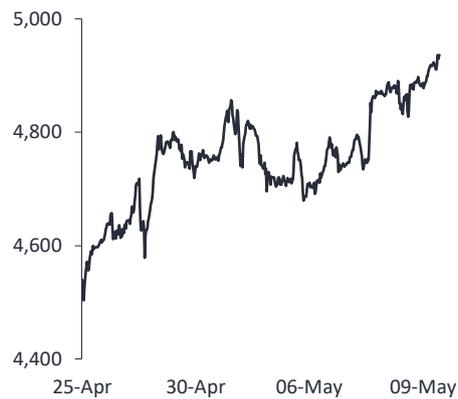
¥/g



出典 ブルームバーグ

プラチナ

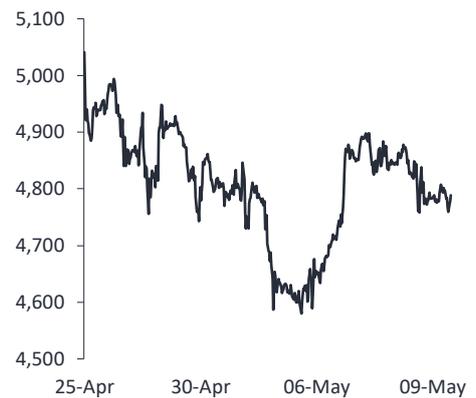
¥/g



出典 ブルームバーグ

パラジウム

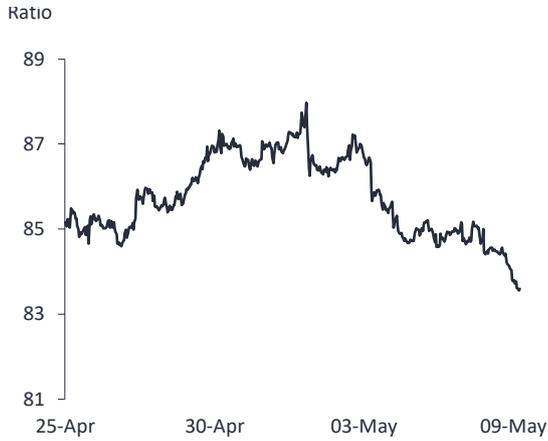
¥/g



出典 ブルームバーグ

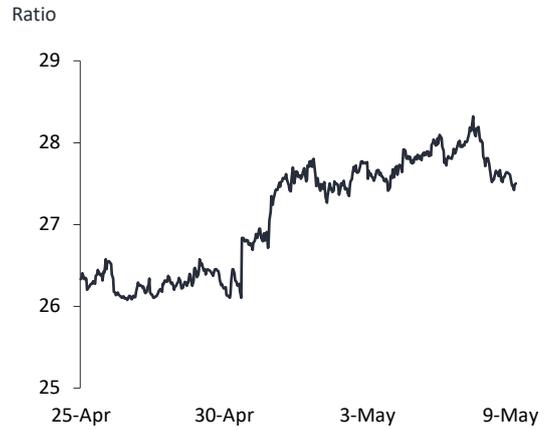
チャート - レイシオとスプレッド

金銀比価



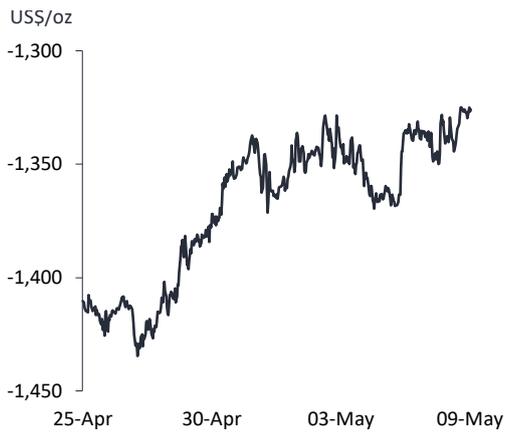
出典 ブルームバーグ

金原油比価



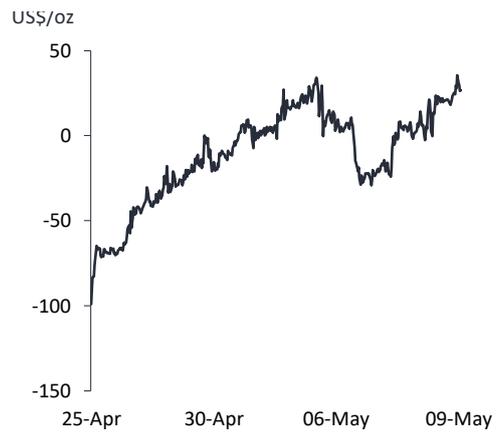
出典 ブルームバーグ

プラチナ・ゴールドディスカウント



出典 ブルームバーグ

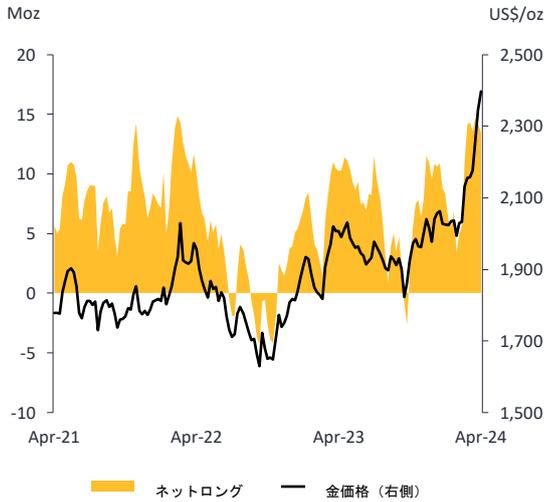
プラチナ・パラジウムディスカウント



出典 ブルームバーグ

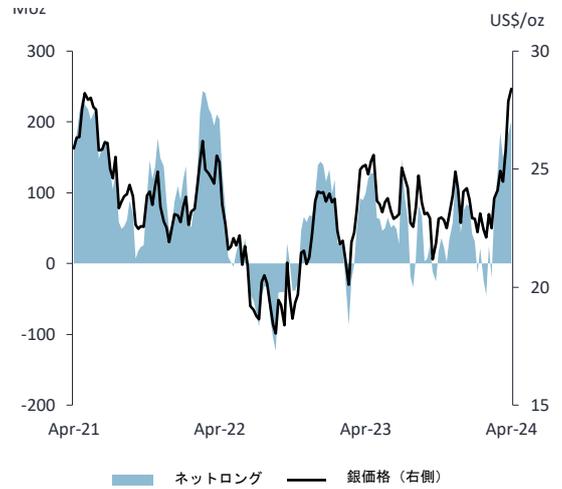
チャート - CME ネットポジション*

ゴールド



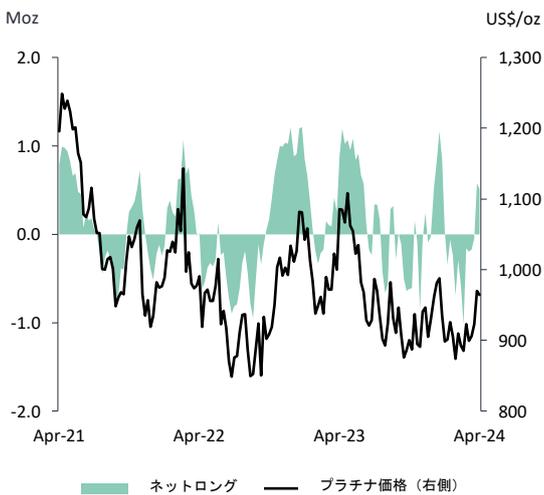
*ファンドマネジャーポジション、出典：ブルームバーグ

シルバー



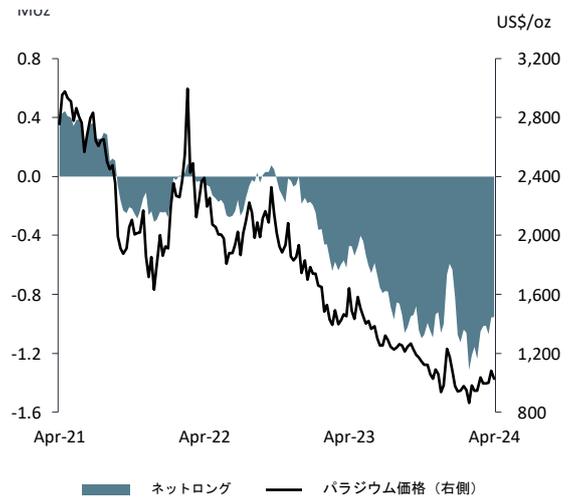
*ファンドマネジャーポジション、出典：ブルームバーグ

プラチナ



*ファンドマネジャーポジション、出典：ブルームバーグ

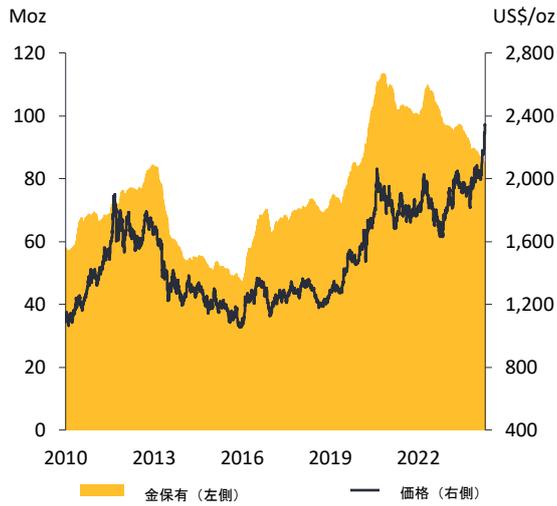
パラジウム



*ファンドマネジャーポジション、出典：ブルームバーグ

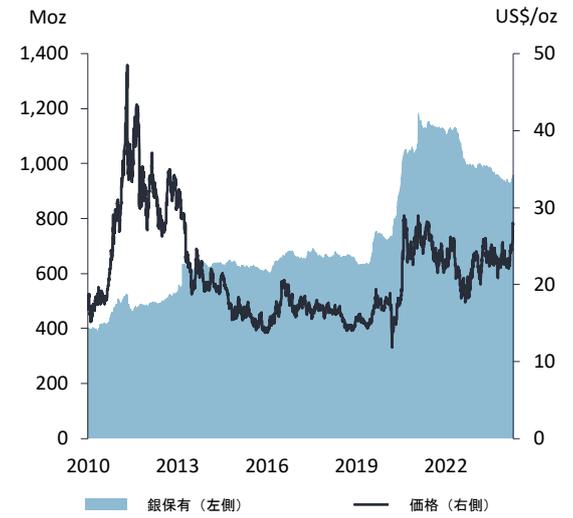
チャート - ETP 保有高

ゴールド



出典：ブルームバーグ

シルバー



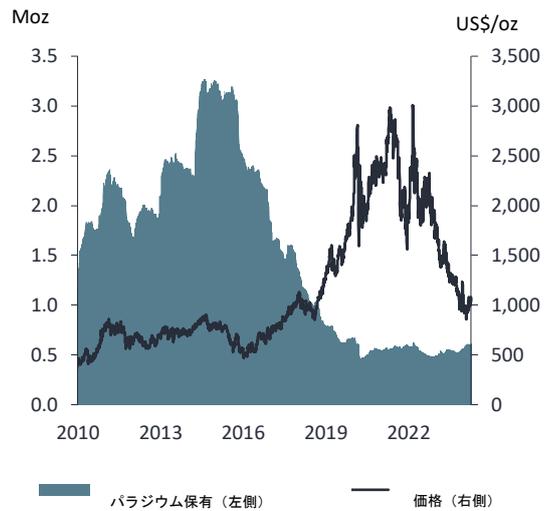
出典：ブルームバーグ

プラチナ



出典：ブルームバーグ

パラジウム



出典：ブルームバーグ

Metals Focus - The Team

Philip Newman, Managing Director
 Charles de Meester, Managing Director
 Neil Meader, Director of Gold and Silver
 Junlu Liang, Senior Analyst
 Simon Yau, Senior Consultant - Hong Kong
 Peter Ryan, Independent Consultant
 Elvis Chou, Consultant - Taiwan
 Michael Bedford, Consultant
 David Gornall, Consultant
 Jacob Smith, Senior PGM Analyst
 Neelan Patel, Regional Sales Director
 Mirian Moreno, Business Manager
 Erin Coyle, Sales & Marketing Executive
 Ghananshu Karekar, Research Associate

Nikos Kavalis, Managing Director - Singapore
 Sarah Tomlinson, Director of Mine Supply
 Wilma Swarts, Director of PGMs
 Philip Klapwijk, Chief Consultant
 Chirag Sheth, Principal Consultant - Mumbai
 Yiyi Gao, Senior Analyst - Shanghai
 Çağdas D. Küçükemiroğlu, Consultant - Istanbul
 Dale Munro, Consultant
 Harshal Barot, Senior Consultant - Mumbai
 Tim Wright, Senior Mine Supply Analyst
 Adarsh Diwe, Analyst - Mumbai
 Celine Zarate, Consultant - Manila
 Jie Gao, Research Analyst – Shanghai
 Donnadee Francisco, Mine Supply Analyst- Manila

Metals Focus – Contact Details

Address

6th Floor, Abbey House
 74-76, St John Street
 London, EC1M 4DT
 U.K.

Tel: +44 20 3301 6510

Email: info@metalsfocus.com

Bloomberg launch page: MTFO

Bloomberg chat: IB MFOCUS

www.metalsfocus.com

免責条項と著作権

特記されている場合を除き、当レポートの全ての著作権はメタルズフォーカス Ltd に帰属する。当レポート(含有及び添付資料を含む)は利用者に対してのみ作成されたもので、当レポートのいかなる部分も貴金属及び関連する金融商品や投資の売買を提案するものではなく、そのような商品の売買に関する助言とみなされるべきではない。当レポートの内容に基づいたいかなる行動も、専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。当レポートの内容は綿密な調査に基づいて作成されているが、メタルズフォーカス Ltd が情報の正確性及び適時性を保証するものではない。メタルズフォーカス Ltd は当レポートの情報に関する誤りや不作為、当レポートの情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害、第三者に生じた損失あるいは損害に関して一説の責任を負わない。

当レポート(あるいは当レポートのどの部分に関しても)はメタルズフォーカス Ltd の書面による許可なくして、いかなる手段にても第三者に複製、配布、送付、引用されてはならない。電子的な配信の場合は、ユーザーライセンスが許可された購読者のみが当レポートのコピーをダウンロードすることが許されている。その他のユーザーライセンスはメタルズフォーカス Ltd から購入が可能である。許可されない行為が行われた場合には民法あるいは刑法に応じた手段を講じる場合がある。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。